

昔は、狩野川がこの地に沿って流れていたため、三崎神社とも雨之宮とも云われていた。下田に下る道も走り、交通も頻繁で旅人の参詣も多く祭典も盛大な極めようだが、仁寿元年(八五二)の大地震により狩野川の水路が一変し、以後は街道も改まったが、今日でも雨乞の神社として、信仰を持ち続けている神社である。

例祭日は10月16日となっている。今年も、日枝神社例大祭と同日の10月13日に、向原の氏子らが集まり、神事が執り行われた。



今年の神事の様子



柏谷の祭

天降神社

天降神社(あまおりじんじや)は、田方平野に突き出た岬を思わせる柏谷向原の南端に位置し、社殿は、前面の道路から鳥居をくぐり、石段を四十数段上った高台に建っている。祭神は、天津彦火瓊杵命(あまつひこほににぎのみこと)で、田方平野の雨乞の神として、広く農民信仰を集めた神社であり、「雨降る大明神」の別称を持っている。夏季干ばつに参籠して雨乞の祈願をすれば、たちどころに雨を降らせると信じられてきている。



池之尻から見た天降神社



柏谷区敬老会が、10月27日(日)に老人会開会100周年を記念して、区内の各施設で敬老会を開催しました。当日は、区内の各施設で敬老会を開催しました。当日は、区内の各施設で敬老会を開催しました。



敬老会



地域防災訓練



静岡県では、12月1日(日)に「地域防災の日」として、県内各地で防災訓練が行われました。柏谷区でも、12月1日(日)、堤ヶ池にて放水訓練を行いました。放水訓練は、堤ヶ池の水を浄化槽の水を浄化する機械の操作などを行いました。浄化した水は、少量づつですが参加者皆が何の問題もなく飲むことが出来ました。

引き続き、地域の行事やイベントが行われます。敬老会や防災訓練など、地域の行事やイベントが行われます。敬老会や防災訓練など、地域の行事やイベントが行われます。



例大祭に続いての登場となった津軽三味線の高岡みのりさん

区民体育大会



令和元年度の柏谷区民体育大会が、9月29日(日)に東小学校グラウンドで行われ、各組長による集計で一千人を超える区民の皆さんが来場しました。当日は予想外の雨が朝まで残り、大会の開催が心配されましたが、日中は雨の心配がない恰好の運動会日



あの頃の柏谷



上の写真は、柏谷区民体育大会の応援をする人たちを撮影した写真です。撮影の時期は、昭和30年代後半と思われます。当時は通信病院(現在のN T T東日本伊豆病院)の中にあるグラウンドを借りて行われていました。現在、伊豆白寿園が建っている辺りになります。体育大会のほんの一部を切り取った写真ですが、区民体育大会が昔から柏谷区の大変な行事であり、皆の楽しみの一つだったということが窺える写真です。

(写真は3組の仁科さんから提供していただきました。)



和となりました。大会では、おなじみの各競技に大きな声援が送られ、昨年台風で出来なかった分も取り戻すような、歓声と笑顔にあふれた一日となりました。競技の結果、優勝は橙色チーム



ム、準優勝は黄色チームになりました。